

窓口で詐欺被害阻止

岐阜信金支店 窪田さんに感謝状

岐阜北署

特殊詐欺被害を未然に防いだとして、岐阜北署は9日、岐阜信用金庫福光支店(岐阜市福光東)と、同支店お客さまサービス副長の窪田佳奈さん(44)に感謝状を贈った。

署によると、昨年12月6日、県内在住の80代の女性が「ATMで現金が引き出せない」などと窓口に来た。

対応した窪田さんが現金を引き出す理由を尋ねたところ



山内茂義署長から感謝状を受けた大野寛幸支店長(左)、窪田佳奈さん(中央)＝岐阜北署

る女性は「息子から仮想通貨で500万円の税金を滞納している」と電話があった」などと答えた。仮想通貨という言葉や女性が電話の男から「ATMでお金を下ろしてほしい」と指示されていたことから詐欺を疑い、窪田さんが同署に通報し、被害を未然に防いだ。

署で行われた贈呈式には、窪田さんと大野寛幸支店長(50)が出席。山内茂義署長から感謝状を受け取った窪田さんは「身近なところで(詐欺が)起こっていると再認識した。大事な財産を守れて良かった」、大野支店長は「今後もアンテナを張っていきたい」と話した。山内署長は「お客さんと顔の見える関係があってこそ。これからも防止に協力してほしい」と感謝した。(杉原康仁)